

◆ポスターツアー演題一覧◆

ツアー番号	テーマ	演題番号	演題名	演者	所属
ポスターツアー1	関節リウマチの治療評価と予測	PT01-1	RAIにおける骨破壊を来した手関節とCMP関節のADL比較検討	田口紗理	駒ヶ嶺リウマチ整形外科クリニック
		PT01-2	関節リウマチ患者におけるサルコペニア運動機能評価とSARC-Fの一致性 - Fairy study -	鈴木望人	名古屋大学医学部附属病院
		PT01-3	手術療法の有無と自己効力感との関連についての検討:過去追跡コホート研究	寺嶋悠也	岡山大学大学院医歯薬学域 腎・免疫・内分泌代謝内科学
		PT01-4	関節リウマチ患者におけるロコモティブシンドロームの評価と一致の検討	山本浩志	名古屋大学大学院医学系研究科
		PT01-5	関節リウマチにおける罹患関節の大小径比と予後について~関節指数ベクトルを用いた検討~	大橋敬司	一般財団法人豊城成人病センター リウマチ膠原病センター
ポスターツアー2	大型血管炎	PT02-1	潰瘍性大腸炎合併高尿酸血症に対しUpadacitinib薬用量投与が両疾患を寛解維持し得た初の報告	浅川泉汰	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
		PT02-2	強直性脊椎炎を初発病として発症した巨細胞性動脈炎の一例	佐藤彰加	国立病院機構 横浜医療センター
		PT02-3	高用量のワザランが潰瘍性大腸炎の急性期に有効だったが、大型血管炎の急性期には効果が見られなかった一例	菊地珠美	JA新潟県厚生連上越総合病院
		PT02-4	腎臓病に肉芽腫性血管炎を認めた長期罹患高尿酸血症の1例	坂倉星太郎	三重大学医学部附属病院
		PT02-5	HLA-B51/B52陽性不全型ベータ2微球を併発した高尿酸血症の一例	田中瑛介	東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野(佐倉)
		PT02-6	巨細胞性動脈炎患者におけるPET-CTでの陽性血管の分布と臨床的特徴に関する検討	加藤克太	順天堂大学医学部附属順天堂医院
ポスターツアー3	中小型血管炎:治療	PT03-1	アゾチオプリンによる薬剤性血管炎をきたした網膜神経炎多発血管炎の1例	二武弘樹	福島赤十字病院
		PT03-2	アゾチオプリン投与中に腸管潰瘍を来し致死経過をたどった網膜神経炎多発血管炎の1例	和田伸也	北見赤十字病院
		PT03-3	グルココルチコイド低用量下におけるアゾチオプリン使用法の有用性に関する後ろ向き解析 - ANCA関連血管炎19例の検討 -	島近真也	名古屋市立大学大学院医学研究科
		PT03-4	皮膚型結節性多発動脈炎の発病-関節症状にオルメテックが有効であった一例	山川龍之	京都桂病院
		PT03-5	関節症的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症を有する日本人患者における寛解維持療法としてのリツキシマブの有効性について:多施設共同後ろ向きコホート研究(J-CANVAS) アンコール発表	竹内幹	順天堂大学医学部附属順天堂医院
ポスターツアー4	関節リウマチの治療:生物学的製剤	PT04-1	関節リウマチに対するオゾラズマブの寛解率とその影響因子についての検討	橋本智平	兵庫医科大学
		PT04-2	当院におけるオゾラズマブの継続率とその影響因子についての検討	土井吾郎	九州大学病院別府病院
		PT04-3	関節リウマチ患者におけるオゾラズマブの使用状況-Ninjabetaデータベースによる解析	川島龍未	独立行政法人国立病院機構 相模原病院
		PT04-4	当院における関節リウマチにおけるtsDMARDZ中止痛薬の実態	植木幸孝	社会医療法人財団白十字会佐世佐世中央病院
		PT04-5	関節リウマチ患者におけるオゾラズマブの臨床効果に関する多施設共同研究(UKZORA Study)	坂井俊介	新潟大学大学院医学系総合研究科腎臓学センター
		PT04-6	幹細胞系によるAntiBodyならびにNanobodyを用いた炎症性サイトカイン制御の可能性	芝崎誠司	東洋大学
ポスターツアー5	IgG4関連疾患	PT05-1	下亜肺病変に伴う多彩な内分泌障害を呈したIgG4関連疾患の一例	上原正樹	社会医療法人敬愛会中頭病院
		PT05-2	好酸球増多、血清IgG4増高、関節炎、肺浸潤、多発リンパ節腫大を呈したIgG4関連疾患(IgG4RD)と血管免疫芽生T細胞リンパ腫(ATLL)の鑑別した1例	伊藤康彦	千葉大学医学部附属病院
		PT05-3	IgG4関連疾患における臨床表型と免疫血清学的パラメーターとの関係についての解析	山田重壽	一般財団法人住友病院
		PT05-4	当院におけるIgG4関連疾患の治療経過とIgG4値の推移に関する後方視的検討	原亮祐	南長野医療センター 篠ノ井総合病院 リウマチ膠原病センター
		PT05-5	血清IgG4値の上昇はIgG4関連疾患の再燃リスク予測因子となりうるか	尾崎洋基	KKR高松病院
		PT05-6	【題名】後腹膜線維症24例の臨床的検討	奥村信人	埼玉医科大学
ポスターツアー6	ペーシェット病・成人ステル病・成人自己炎症性疾患群	PT06-1	当科における自己炎症性疾患の診療の現状と課題	下山久美子	浜松医科大学
		PT06-2	IL-18/CXCL3プロファイルによる病態評価が治療選択に有用であったマクロファージ活性化経路併合成人発症ステル病の1例	姜明里	東京科学大学病院 膠原病・リウマチ内科
		PT06-3	当施設における成人発症Sjögren症の臨床的特徴および治療の後方視的解析	小川和浩	浜松医科大学医学部附属病院
		PT06-4	成人発症Sjögren症に対するトシリズマブのステロイド減量および再発抑制効果に関する検討	江崎香穂	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター
		PT06-5	PTCARD AS-1 long noncoding RNAがインフラマーム期間活性化モデルにも与える影響の検討	杉浦輝	神戸大学大学院医学系研究科
		PT06-6	「インフラマーム期間活性化モデル」駆動因子の検討	川野稔季	神戸大学大学院保健学研究科
ポスターツアー7	リウマチ性疾患と感染症(COVID19を含む)	PT07-1	成人発症Sjögren症による血液免疫検査異常の治癒開始後に播種性結核を発症した一例	新田雅斗	昭和医科大学病院
		PT07-2	皮膚病に併発する関節炎性肺疾患に対し免疫抑制療法中に水痘肺炎を生じた一例	高橋崇宏	順天堂大学医学部附属横濱馬場原病変リウマチ内科
		PT07-3	関節リウマチの生活機能に及ぼす寒気感の影響:ウチナーンテック介入型リアルワールドデータ	山中隆夫	独立行政法人 国立病院機構 相模原病院
		PT07-4	新規に治療を開始した関節リウマチ患者における寒気感に関連する因子単独療法向き研究	米澤春花	浜松医療センター
		PT07-5	ウチナーンテックが適量となった今COVID-19はリウマチ性疾患再燃のリスクとなりうるのか?	井野洋	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター
		PT07-6	グラム陰性桿菌(OARI)血症における患者の免疫状態に応じた抗感染薬治療期間等の検討	山内啓太	独立行政法人地域医療機能推進機構東京山手メディカルセンター
ポスターツアー8	中小型血管炎:臨床(治療を除く)	PT08-1	ANCA関連血管炎に伴う消化管病変の臨床的特徴-関西多施設REVEAL cohort-	城司方	淡川キリスト教病院
		PT08-2	ANCA関連血管炎患者の介護度と介護者である家族の実態調査:記述研究	小黒奈緒	昭和医科大学
		PT08-3	MPO-ANCA陽性網膜神経炎多発血管炎におけるDeep Remission達成に関連する因子の検討	千田和希	岩手県立中央病院
		PT08-4	診断時に低補体血症を伴う好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(E-GPA)の臨床的特徴	倉科淳一	信州大学医学部
		PT08-5	潰瘍性大腸炎(UIC)治療中に発症した好酸球性心筋炎を契機に診断された好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(E-GPA)の1例	白須真実	山梨県立中央病院
		PT08-6	腸管炎を契機に診断された好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例	平瀬伸尚	独立行政法人労働者健康安全保障九州労災病院
ポスターツアー9	リウマチ性疾患の手術	PT09-1	当院における関節リウマチ患者の大腸管近位部切除の検討	黒瀬理恵	独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター
		PT09-2	関節リウマチにおける人工膝関節置換術中の腸管神経キック量と疾患活動性との関連	山下祐	東京慈恵会医科大学
		PT09-3	Modified scarf osteotomyを用いた片足趾手術における、術後骨髄MTの関節症性変化と足部の失状面アライメントの評価	岡村元佑	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター
		PT09-4	手指伸縮断髪を主とした関節リウマチ患者の特徴-バリエーションをどう捉えるか?	徳永修	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
		PT09-5	リウマチ性足関節症と変形性足関節症における鏡下下関節腔鏡視鏡下治療成績の比較	浦田健太郎	福岡大学医学部 整形外科教室
ポスターツアー10	リウマチ性疾患の基礎研究	PT10-1	関節炎におけるPAD4発現好中球の機能と多様性の検討	大山綾子	筑波大学医学部
		PT10-2	自己炎症性関節炎患者におけるマクロファージ特異的ADAR1の病態制御機構の解明	長谷川杏奈	理研医科大学病院
		PT10-3	トランスフェリン受容体(TFR1)は潰瘍性大腸炎の新機軸となりうる	喜多恒允	筑波大学
		PT10-4	GIAマウスの休息期における細胞免疫関連因子CytR1E1の発現増加と特異的遺伝子の関与	道本緑空	神戸大学大学院保健学研究科
		PT10-5	薬理遺伝学的手法による内因性OXTCニューロンの活性化はアジュバント関節炎を改善する	橋本航	産業医科大学
		PT10-6	高齢発症関節リウマチにおける血漿中small EVの変化	西山泰平	筑波大学
ポスターツアー11	関節リウマチの治療:tsDMARDs・JAK阻害薬	PT11-1	JAK阻害薬のcyclingにおける有効性の比較検討-ANSWERコホートデータより	林甲也	神戸大学大学院
		PT11-2	関節リウマチに対するJAK阻害薬のPhase 2/3での全体の継続率は同等だがPhase 3では無効中止率が高い	佐藤健夫	自治医科大学
		PT11-3	1st BIO/JAKのターゲット別に3年以内CR2/RA2分離される割合についての検討	田村峻也	和泉市立総合医療センター
		PT11-4	抗核抗体陽性関節リウマチにおけるJAK阻害薬と生物学的製剤の治療効果の比較	小林弘樹	広島大学病院
		PT11-5	フルボネズナ継続投与は骨吸収抑制と腫瘍骨密度改善をもたらす:骨粗鬆症薬併用とACPA変化の影響	緒部敬生	鹿友整形外科病院
		PT11-6	ヤススキナーゼ(JAK)阻害薬で治療された関節リウマチ(RA)患者でのJAK選択性の違いによる有効性、安全性、継続率の比較検討	松田真弓	埼玉医科大学病院
ポスターツアー12	SLE・抗リン脂質抗体症候群:治療	PT12-1	当院における全身性エリテマトーデスに対するアゾチオプリンの有効性の検討	橋本智子	富田医科大学
		PT12-2	当院の全身性エリテマトーデス患者におけるベリムマブ開始時期の検討 ~寛解・再発率導入療法からベリムマブ導入までの期間が疾患活動性に与える影響~	山本謙	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
		PT12-3	全身性エリテマトーデスに対してアゾチオプリンを導入した症例の患者背景と臨床経過の検討	福田里香	近畿大学病院
		PT12-4	慢性腎臓病(CKD)患者の腎臓病により、繰り返す肺出血を抑制し得たMDS併存SLEの1例	秋山沙由里	大阪大学大学院医学系研究科
		PT12-5	ネフローゼ症候群を契機にLupus podocytopathyの診断に至った全身性エリテマトーデスの一例	石川那智	大阪けいさつ病院
		PT12-6	アゾチオプリンで治療した胸膜炎と関節炎を伴う全身性エリテマトーデスの1例	熊圭裕	大阪医科薬科大学病院内科学(IV)

ポスターツアー13	SLE・抗リン脂質抗体症候群・基礎・臨床(治療を除く)	PT13-1	全身性エリテマトーデス患者における動物実験と生体性低下の原因(WPAI-Lupusを用いた解析)	若松彩子	新潟大学医学部総合病院
		PT13-2	自己免疫疾患に関する調査研究班による腫瘍プラットフォーム(RADDAR-J)を用いた全身性エリテマトーデスの実態調査	鎌田和郎	北海道大学大学院医学部医学研究科 免疫・代謝内科学教室
		PT13-3	ループス腎炎(LN)を有する男性全身性エリテマトーデス(SLE)患者の臨床的特徴および疾患活動性の検討 ～ANSWER-SLEコホート研究より～	石村香織	近畿大学病院
		PT13-4	SLE Dysbiosis関連シナプスに対するLactobacillus菌叢発育抑制効果と要因究明	佐藤向日英	順徳横浜大学大学院 工学研究科
		PT13-5	SLEにおけるADARIに対する自己抗体とその臨床的特徴および他の自己抗体との関係	小松紗良	獨協医科大学
		PT13-6	生物学的製剤普及時代のSLE患者における準状態疹疹患に関する疫学研究	渡辺充	社会医療法人宏済会 大同病院
ポスターツアー14	強皮症・MCTD・重複症候群	PT14-1	色素脱失を伴う皮膚及び関節痛・筋痛を呈し皮膚生検によりScleroderma morpheaの診断に至った1例	井上優子	昭和医科大学医学部内科学講座
		PT14-2	ニコフェノール酸モフェテルが有効であった抗IL6抗体陽性強皮症・多発性筋炎重複症候群の1例	猪狩滋元	東京医科大学八王子医療センター
		PT14-3	乳房や外層を契機に発症した全身性強皮症の3症例	頼母木直樹	信州大学医学部附属病院
		PT14-4	全身性強皮症患者の単球における低糖素応答についての検討	山路悠	順天堂大学医学部膠原病内科
		PT14-5	全身性強皮症に伴う間質性肺炎患者(SSc-ILD)における肺および皮膚の転帰に対するニコフェノール酸モフェテルとリツキシマブの比較 KEO-SScコホートの結果	川井雅敏	慶応義塾大学病院
		PT14-6	全身性強皮症の皮膚硬化に対するリツキシマブの治療効果・最長4年の経過と上肢・下肢・体幹の皮膚スコア変化について	古川智也	兵庫医科大学
ポスターツアー15	多発性筋炎・皮膚筋炎	PT15-1	抗TIF1-γ抗体陽性皮膚筋炎における悪性腫瘍合併の予測因子の検討	河野敏輝	鳥取大学医学部附属病院
		PT15-2	トファシニブを主たる治療薬とした抗MDA5抗体陽性DMの2症例 ～予防的抗真菌薬を導入した当院の自験例と文献レビュー～	石井翔	昭和医科大学医学部内科学講座
		PT15-3	早期からの血漿交換療法の併用が有効であった抗MDA5抗体陽性急速進行性間質性肺炎の5例	野村雄大	聖隷横浜病院
		PT15-4	急速進行性間質性肺炎を合併した抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎における臨床所見と転帰に関する検討	高井慶太郎	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
		PT15-5	当院における抗SRP抗体陽性免疫介在性重症性ミオパシーに対するリツキシマブ治療の現状	田中真里	栗立広島病院
		PT15-6	脂肪筋炎を合併した皮膚筋炎5例の臨床的・組織学的検討	川村飛翔	横浜国立大学医学部